

⑤ 人間彫刻をしよう！
～友達のポーズ～

あなたも人間彫刻に挑戦してみよう！
友達を彫刻に見立ててポーズ指導をしましょう。
ポーズにタイトルをつけることで思いがけない象徴の言葉が
でてくるかもしれませんね。

1 ポーズを選ぼう



自分の好きなポーズを
考えてもOK!

2 彫刻家になってポーズ指導をしよう



彫刻家と一緒に
ポーズをとって、
細かい部分まで
伝えよう。

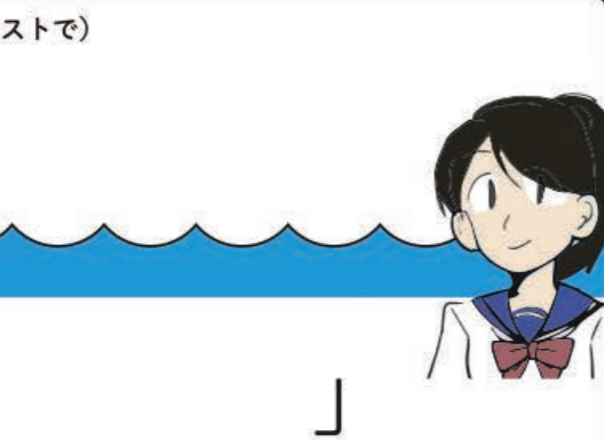
3 作品にタイトルをつけよう そのタイトルにした理由は？



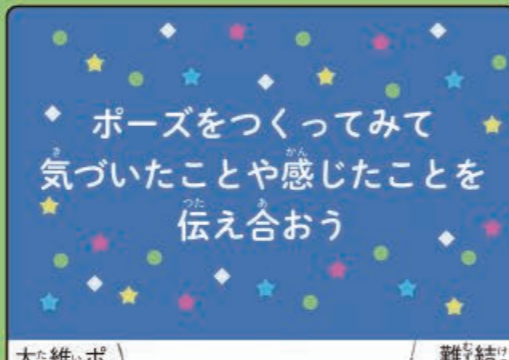
膝を抱えているから
落ち込んでいます
ように見える…

「憂鬱」とか
どうだろう

どんなポーズ？(言葉やイラストで)



ポーズのタイトル
「
」
タイトルの理由



福井県にゆかりのある彫刻家
高田博厚の
えらべる
鑑賞シート



カテドラルを象徴する
彫刻作品のポーズとは？
～からだを使った鑑賞～



名前 _____ 日にち 月 日()

どうして「カテドラル」と名付けたの？

下の写真は、彫刻家 高田博厚(1900-1987)の代表的な“トルソ”の作品のひとつです。
“トルソ”とは、手足のない胴体の像を表す言葉です。

高田は、この“トルソ”に、
「カテドラル」という作品タイトルをつけています。

「カテドラル」とは、キリスト教における
位の高い聖職者が座る椅子のことを意味する言葉でしたが、
現在では、位の高い聖職者の椅子が置かれている聖堂そのものを
表す言葉として使われています。

高田はこの女性のトルソにどうして
「カテドラル」という作品タイトルをつけたのでしょうか。



「カテドラル」・セメント・1937年

美術の作品を見るとき、
みなさんは身体のどこを使いますか。

きっと多くの方が目と答えるのではないのでしょうか。
人間は多くの情報を目からとりこんでいる生き物なのですが、

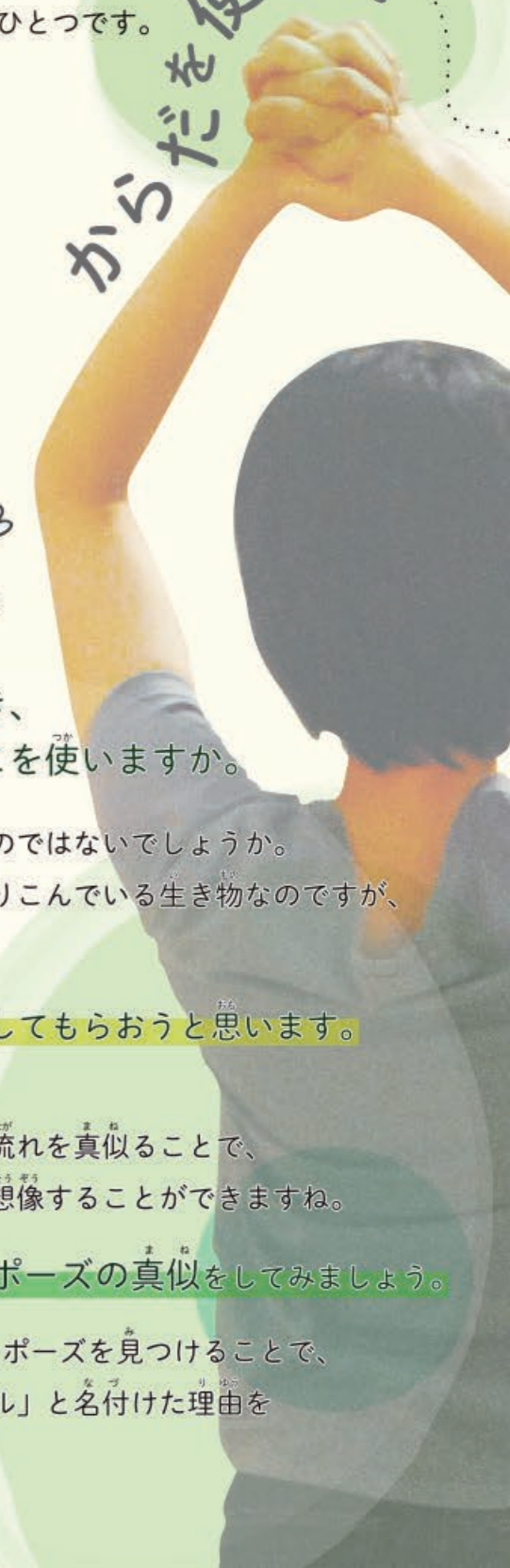
今回はみなさんに、
身体をつかった鑑賞をしてもらおうと思います。

手足や頭部のない作品でも、
自分の身体でトルソの表情や流れを真似ることで、
どんなポーズをしていたのか想像することができますね。

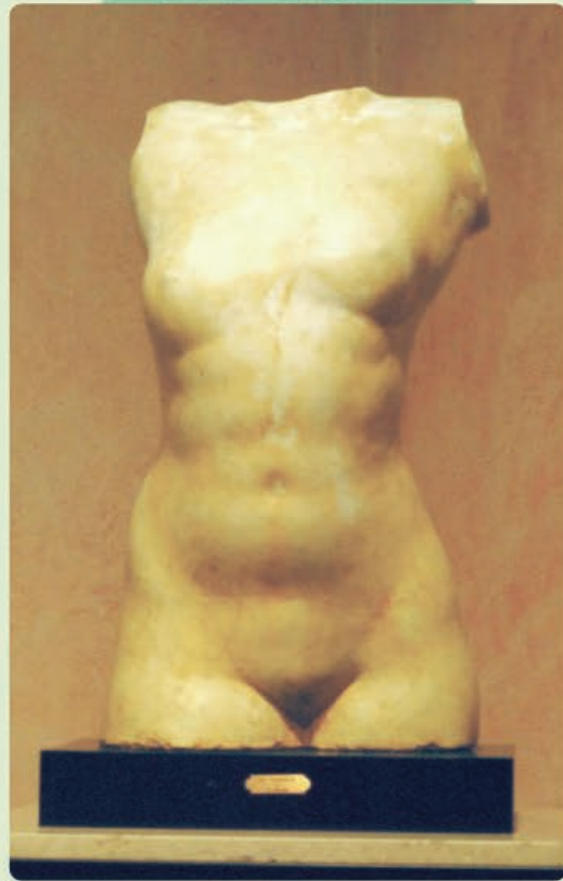
一緒に「カテドラル」のポーズの真似をしてみましょう。

「カテドラル」のもとになったポーズを見つけることで、
高田がこの作品に「カテドラル」と名付けた理由を
探ることが出来るでしょう。

からだを使って



正面から見ると…



右から…



後ろから…



左から…



① カテドラルになってみよう！

身体からだのつくりされていない部分ぶぶんを想像そうぞうしながらカテドラルと同じポーズおなをしてみよう！

★右の「ポーズの虎の巻」を参考さんこうにしてみよう



これは、カテドラルせいどう（聖堂）をイメージさせるポーズおななのかなあ？

どうして頭あたまや手足てあしのないトルソひょうげんにして表現ひょうげんしたのだろう

ポーズの虎の巻

① 右足みぎあしを前まえに出す？



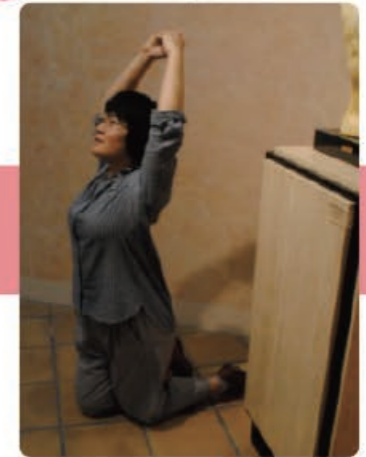
② 視線めせんはどこだろう？



③ 胸むねを張はって…手ては？



④ 立たっている？ 膝ひざをついている？



② このポーズおなに自分で名前なまえをつけてみよう！

のポーズ



③ ポーズおなをとって感じたことかんを話はなしてみよう

このポーズおなは何なにを表現ひょうげんしているんだろうね



どうして「カテドラル」と名な付つけたのかしら

④

祈りいのりは「カテドラル」の象徴しやうしやく

高田博厚たかたひろあつは「カテドラル」の象徴しやうしやくとして祈る女性いのりのトルソせいさくを制作せいさくしました。聖堂せいどうの中で祈りいのりを捧げる女性むすめの姿すがたを想像そうぞうしてもう一度作品いちどさくひんを鑑賞かんしょうしてみましょう。

展示風景てんじふうけいもなんだか教会きやうかいの聖堂せいどうのように見えてきませんか？